

清風荘

「もしもし、京大探偵団ですか？
百万遍から西に行ったところに森みたい
なのがあって、『京都大学』って書いて
あるんですけど、いったい何なのか調べ
てほしいんです」

京大探偵団に届いた依頼はこのよう
なものだった。現地へ行くと、石垣に囲ま
れた区域があり、木が生い茂っていて森
のように見える。調べてみると、「清風荘」
という明治時代に造られた邸宅で、「清
風荘庭園」は国の名勝に指定されている
ことが判明した。

清風荘は江戸時代から徳大寺家の別邸
として存在していた。現在の建物は同家
の次男に生まれた西園寺公望（1849～
1940）によって完成され、西園寺の死後、
弟の住友吉左衛門から京大に寄贈された。
1944（昭和19）年のことである。

「中に入れないのか？」

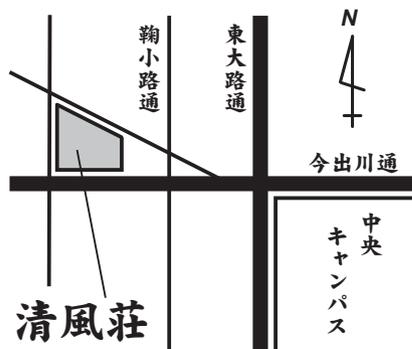
大学側に問い合わせると、一般には公
開していないとのこと。しかし今回、特
別に中に入れてもらえることになった。

併設の官舎に住み、夫婦で清風荘の管
理人をしているという女性の方に庭園を
案内していただいた。

主人がいたらもっとうまく説明できた
のに、と言う管理人の奥さんは、それ
でも清風荘についてたっぷりと語ってく
れた。昔は庭園がもっと広く、池ももっと
深かったこと、京大の総長もここを訪れ
ること、などなど。

この清風荘庭園は七代目・小川治兵衛
という庭師の作である。彼は著名人の邸
宅の庭のほか、平安神宮神苑、円山公園
なども作庭している。庭園が名勝に指定
されたのは戦後、清風荘が京大の管理下
に入ってからのことだ。多くの和風建築
が進駐軍によって接収されるなか、清風
荘の接収を避けるために指定を受けたと
いう。

鯉が泳ぎ、鴨が羽を休める池。池の向
こうの大きな築山と、さらにその向こう
に小さく見えるのは大文字山。そして、
この庭を一望できる屋敷、清風荘。



石垣ごしに時折、今出川通を走る車の
音がするが、それがどこか遠い世界の出
来事のように感じられてしまう。そんな
昔のままの雰囲気が残っているの
も、文化財を後世に残そうという努力が
あってこそだ。庭園の松を手入れしてい
る植木屋さんの姿を見て、探偵はそう思
った。（ピカイチ）



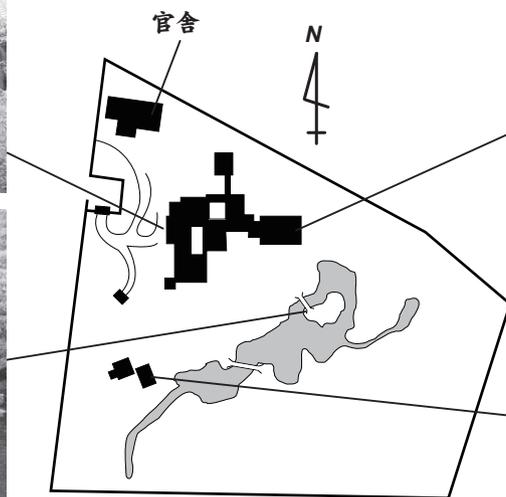
▲西側にある入口。



▼黒竹が美しい玄関。



▲池の水は北白川の疎水から引いている。



▲今も賓客との懇談などに使われている清風荘。



▲茶室も二軒ある。



はみだし
すてーじ

トイレットペーパーのことトイペっていいですよ。私の知人はトレペだと主張していましたが、どちらが正しいんですか？

⇒トレペはトレーシングペーパーと思われる可能性があるので、トイペの方がよいかと。

(文・他 テツorトモ)
(編)